

日本基督教団 八ヶ岳伝道所 待降節第二週 主日礼拝 NO.1149 2020年12月6日

牧師 山本護 奏楽 山本恵美 第一部礼拝 司式 青柳均 9:30~10:30  
 ※讃美は二番まで歌います 第二部礼拝 司式 福田奈里子 11:00~12:00

前	奏	黙想	讃美歌	II-128	世のひと忘るな
讃美歌	95	わが心はあまつ神を	献金		
祈禱			讃詠	547	いまささぐるそなえものを
聖書		創世記 28:10~12	黙禱		
		マタイによる福音書 1:18~25	主の祈り	564	
讃美歌	96	エサイの根より	讃詠	545	父のみかみに
説教		『降誕の恩寵はあの二人から』	祝禱		
祈禱			後奏		※信仰告白は当面省略します。

旅の途上、野宿する父祖ヤコブは石を枕にして寝た(創世 28:11)。「すると、彼は夢を見た。先端が天まで達する階段が地に向かって伸びており、しかも、神の御使いたちがそれを上ったり下ったりしていた(28:12)」。夢はたいてい荒唐無稽だが、見ているさなか「ありや、おかしいぞ」とは思わない。

御使い(天使)とは、神の御心をいわば擬人化したもので、夢にも覚醒時にも現れて何事かを告げる。御心を告げられた者はどうなるか。ヤコブは誓願を立て、「神がわたしと共におられ、わたしが歩むこの旅路を守り、食べ物、着る物を与え、無事に父の家に帰らせて下さる(28:20~21)」ことを確信した。

ヨセフは、婚約者マリアがあずかり知らぬ妊娠をしたので、縁を切るつもりだった(マタイ 1:18~19)。そんな折、「主の天使が夢に現れて言った。〔ダビデの子ヨセフ、恐れず妻マリアを迎え入れなさい。マリアの胎の子は聖霊によって宿ったのである〕(1:20)」。するとどうだろう。「ヨセフは眠りから覚めると、主の天使が命じたとおり、妻を迎え入れた(1:24)。「覚める」を直訳すれば「眠りから立ち上がる」。つまりヨセフは、夢で見た御旨でぐっと決断し、父祖ヤコブのように力強く立ち上がった。

遠い昔にヤコブが「神がわたしと共におられる(創世 28:20)」と言ったように、御旨の中心はここだ。「〔見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる〕。この名は〔神は我々と共におられる〕という意味である(マタイ 1:23)」。インマヌエルなくして、ヨセフは恥辱と苦難に耐ええなかった。マリアはなおのこと、インマヌエルなしに神の子を産む命運に耐えられなかった。その意味でインマヌエルは、まず彼ら夫婦を立ち上がらせたと言えるだろう。ヨセフは寡黙な職人だが、八面六臂の行動は伝えられた(2:13~15,19~23)。彼以上のマリアの沈黙は、世の闇に溶けている。

イエスの降誕、また十字架と復活の時には、どうしてか女たちの存在がクローズアップされる。イエスが力ある言葉や癒して活動している時には、直弟子たちも働いたが、十字架の時(27:55~56)や復活の時(28:8~10)には弟子がおらず、女たちがそこに居た。これはいったい、どういうことだろうか。

女の「受動力」によるものではないか。マタイ福音書のマリアはルカ福音書に較べて、ひと言も発せずその姿は定かではない。ヨセフも沈黙したままだが行動力ははずば抜けている。だがマリアは、灯りのない粗末な家に引きこもっている。その姿がちらと垣間見られるのは、東方の占星術学者たちが夜半に来訪した時だけ。学者らが「家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた(2:11)」。

ヨセフの系図は誇らしく語られるが(1:1~16)、マリアの素性はまるで不明だ。降誕すべてが神の業。家柄や品性、能力や性格など人間側の要件は微塵もなく、最底辺の無力な少女がその使命を負っても何ら奇妙ではない。神の使命には苦しみが伴うが、あたかも深まる夜に溶けて見極められない。ルカのマリアは「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように(ルカ 1:38)」と応じたが、マタイではいっそう受動的で緘黙したまま。この底知れぬ沈黙にクリスマスの胎動を予感する。

「インマヌエル、神は我々と共におられる(マタイ 1:23)」。クリスマスへの奇跡、まずは彼ら二人から。

神我らと共におられる どこで共におられるのか 地上の 最底辺の場で 私自身の内ではどこか  
 考える頭ではない 信仰する胸ではない 感情ある肚ではない 沈黙する足の裏で 共におられる

本日午後は役員会。またトーンチャムの練習もあります。今年の燭火礼拝は 12/24(木)18:00~19:00。広く呼びかけず控えめに行います。今月の聖書研究会は 12/12(土)13:30~15:00(ルカ 1:46~56)。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳伝道所」で検索して下さい。